

2024年  
2月16日発行所 © (株)北信工  
発行責任者 東 英  
〒383-0025  
長野県中野市三好町1  
TEL 0269-22-4  
FAX 0269-26-5

毎週金曜日発行

特集 全国

飯山 地産

山ノ内 小津

小布施 今春

経済 信州

スポーツ 馬場

スポーツ 飯山

「チ

全国中学校  
優勝した【関

# 中野市内事業所が 共同で被災地支援

能登半島地震被災地へ 炊き出し用食材を送る

J A中野市提供の支援物資の一部



中野市内の事業者が能登半島地震の被災者用にと炊き出しの材料を8日から15日にかけて被災地に送った。支援要請を受けた北信州森林組合の呼びかけにJ A中野市と道の駅ふるさと豊田が協力。キノコや野菜、リンゴなどが石川県に送られた。

全国林業研究グループ連絡協議会（全林研）副会長で女性会議代表を務める坂本ちづるさんから穴水町や輪島市で実施している避難者用の炊き出しに使う農産物がほしいと全国の同グループ役員に連絡があり、理事を務める北信州森林組合の田中忠参事が同組合生産材の多くを七尾市の工場に出荷していることや、2016年に飯山市内で全国林業後継者大会を開催した際には前年開催地の石川県関係者から助言を受けていたこともあって、被災地からの支援要請に応えたいと関係機関に相談。J A中野市や道の駅ふるさと豊田の協力が得られることになった。

J A中野市では当初、農産物直売所信州中野いきいき館、農産物産館オランチエへの出荷農産物で販売時に余った分を検討していた



道の駅ふるさと豊田の支援物資の一部

が、この時期は野菜などが少ないこともあり、同J Aきのこ部会協議会との協力でキノコ類の提供となった。送ったキノコ類はエノキタケ30キ、ぶなしめじ30キ、なめこ25キまたはエリンギ15キの3種類を8日から15日までに3回、農産物と合わせて被災地へ。今後は被災地の状況を見ながら調整し、「役に立てるならしばらく継続していきたい」としている。

道の駅ふるさと豊田では直売所に出荷している農家から白菜やジャガイモ、リンゴなどが寄せられ、14日

に北信州森林組合に引き渡した。同組合では近隣の自然災害に職員を派遣することはあるが、食材を送る支援は今回が初めてという。

現在被災地では、支援物資の配送については、輸送会社の営業所で預かるだけで、宅配はできないため、今回の支援物資も能登の営業所で預かったものを全林研の坂本さんが引き取り、輪島市内の炊き出し現場に届ける。輪島の炊き出しには長蛇の列ができたそうで、現地の坂本さんからは感謝の言葉も届いている。

砂時計

16

田端 智子

汝の偶然を愛せ

二一チエ

ん(67)を訪ねた。雪の中の山小屋風の家屋は薪ストーブのにおいがした。壁一面に貼られた名言。

「後悔というものは必ずする。それをできるだけ少なくするように暗中模索している」そう言いながら豪

体験や経験値が深いので読み方にも深みが出る。そして人情に厚い。スキ一のインストラクターを三

中野土人形の形一5代目、西ん(83)・立花花野ひな市」の屋

◆中野ひな市の目玉に、の声も

古く昔、土人形の芸術家「工多十橋」